

# 平成 30 年度宮津市立小学校 使用教科用図書採択について

## 会議録

- 1 日 時 平成 29 年 8 月 28 日（月）午前 9 時 30 分～
- 2 場 所 宮津市役所 第 2 会議室
- 3 出席者 山本雅弘 生駒正子 速石直美 田崎公子 中村勝利
- 4 事務局 永濱教育次長 宮崎学校教育課長 河原社会教育課長 中村参事  
垣中参事 泉指導主事 大槻指導主事 河合学校教育係長
- 5 議 事  
議第 32 号 平成 30 年度宮津市立小学校使用教科用図書の採択について

山本教育長

ただいまから、平成 29 年第 11 回宮津市教育委員会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

それでは、次第に沿って会議を進行します。

次第 2「前回会議録の署名」については、生駒教育長職務代理人、田崎委員で署名をお願いします。

次第 3「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員は、会議規則第 18 条第 2 項の規定により、田崎委員と中村委員を指名いたします。

次に「会期の決定」を行います。

本日の定例会の会期は、1 日といたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

出席委員

（異議なし）

山本教育長

異議なしですので、本日の会期は 1 日といたします。

議事に入らせていただきます。

議第 32 号「平成 30 年度宮津市立小学校使用教科用図書の採択について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

宮崎学校教育課長

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条

第5項の規定に基づき、平成30年度から使用する小学校教科用図書の採択について、提案させていただきます。

○「国語」～「書写」～「社会」～「地図」～「算数」～「理科」～「生活」～「音楽」～「図画・工作」～「家庭」～「保健」  
昨年度採択したものを継続するものです。

○「特別の教科（道徳）」

平成30年度から教科化される中で、文科省検定に合格した8社の教科書を選定することとした上で、これまで京都府の調査、丹後教科用図書採択地区協議会における調査並びに協議等を重ねてまいりました。併せて、本市教育委員会においても研究協議会（2回）の開催に加え、委員の皆様において、各図書の精読等の調査をお世話になりました。

教育委員会としても平成29年7月に“小学校（特別の教科「道徳」）使用教科用図書の選定・採択に関わる基本的な考え方”をまとめました。その内容ですが選定・採択にあたっては、京都府教育委員会の平成30年度使用小学校教科用図書選定資料、丹後教科用図書採択地区協議会における調査・選定を踏まえた上で、次の基準（5項目）に最も適したものを採択することとしたところでございます。

- 1 学習指導要領の趣旨に即し、（特別の教科「道徳」）の目標達成に適したものであること。
- 2 一人一人の子どもの道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に向け、学習活動の充実に寄与するものであること。
- 3 基本的人権の尊重の視点に立ち、人権文化の担い手を育成するとともに、子どもの道徳性を養うものであること。
- 4 宮津市教育大綱に定めた「知恵をつなぎ、自然・人・社会とつながる人」「知恵を活かし、新しい価値を創り出して世界に発信する人」、「ふるさと宮津への愛と誇りを持ち、明日の宮津を創る人」の育成に資するものであること。
- 5 宮津市の学校教育における学習指導要領に基づく教育課程の内容、構成、授業時数、編成等に即したものであること。

○7月31日には、教科書無償措置法に基づく第2回丹後教科用図書採択地区協議会が開催され、調査協議の結果、全会一致で「東京書籍」が選定され、8月1日付けで協議会会長から本市教育委員会に選定結果が通知されたところです。

○これらを踏まえ、本市教育委員会として、「東京書籍」を採択することとしたいと考えております。

山本教育長

ただいまの事務局からの提案説明に対し、委員の皆様からの質問・御意見等をお願いします。

生駒教育長職務代理者 ○「道徳」が教科となる初めての教科書採択ということで、我々も採択権者として、慎重かつ丁寧に調査を実施してきた。

○いずれも学習指導要領に沿ったものとして作成された上で、教材の扱い方、あるいは本冊と別冊とするなどの冊子構成、中心発問の設定や児童にとってなじみやすさ等という点で各社とも大変工夫をされていた。

○これまで京都府内において、心の教育 学習資料集「京のこども 明日へのとびら」を使用してきたことに加え、府として「道徳教育の進め方」を作成・改訂されてくるなど、道徳教育に関する蓄積がある。

○こうした中で、中心発問を絞り、授業運営に現場の創意を取り入れやすくしている点で、「東京書籍」は評価できる。

○各校の道徳教育の要としての（特別の教科「道徳」）を指導していくことを考えたとき、東京書籍は他の教科・領域との関連付けもよく分かり、より日常生活に即した指導に活用しやすいと考える。

速石委員

○東京書籍は色々な教科書を見ても内容・構成面でもバランスよく配置されている。

○個人的には「光村」が良かった一方、先入観（固定観念）では「あかつき」も良いと感じていた。

○トータルとして、「東京書籍」は教材の冒頭に「学習の目当て」を示し、「振り返り」発問の設定、自分との関わりにおいて考えを深める工夫や、巻頭に「道徳の学習を進めるために」のページ配置や、多様な学習の進め方が示され、「話し合いの約束」を掲載するなど主体的・対話的な学習面での配慮がなされ、新たな学習指導要領の趣旨に沿ったものと評価した。

田崎委員

○全ての学年で巻末に情報モラルに関するページが配置されており、ゲームやネット問題など今日的課題を広範囲に扱っている。

○全ての学年で「いじめ」の教材を置き、考えを深められる工夫がされている。

○いじめ問題については、「東京書籍」は全ての学年で「いじめのない世界へ」とするテーマを設定し、複数の教材をまとめて学習できるよう工夫している。他教科書も全ての学年で、いじめ問題をテーマにしているが、学年を考慮しながら複数の教材をまとめて学習できるようよく工夫されている点では「東京書籍」がいいのではないかと考えた。

○環境や福祉防災等も多岐にわたり扱っており、今日的な課題を適切に学習できると評価する。

中村委員

○道徳は、「道徳科」の中だけでなく、他教科や特別活動を含め、学校活動全体の中で学んでいかなければならないものだと思っている。

○その点で「東京書籍」は巻末の「つながる広がる」のページなどで「他教科や特別活動との関連」が資料も含めしっかりと明示されている。

○キャラクターを用いて対話形式にしている点も、特に低学年児童にはなじみやすいのではないかと評価している。

山本教育長

ありがとうございました。

私も総合的にみて東京書籍がいいと評価をしているところですが、読み物としては、「光村」「あかつき」も指導しがいのあるものを揃えている印象があり、迷うところも一方ではあります。

生駒教育長職務代理者

「光村」「あかつき」については、私も同感です。読み物としてもしっかりできている。ただ、現場の指導を考えたとき、価値項目にしっかりと依拠して指導しやすいという点では「東京書籍」が良いと思います。また、各社ともに、保護者との連携や学習の振り返りについて、別冊を用意するなど工夫を凝らしているのを見て取れるが、その視点は、別冊のあるなしなどに関らず、指導方法の工夫で十分対応できると考える。

山本教育長

皆様、本当に慎重かつ丁寧に調査をいただき感謝いたします。ただいま、評価等をお聞かせいただきました。

各社とも様々に工夫されていると思いますが、総合的に見て「東京書籍」がいいと評価していただきました。

他に御意見がなければ、採択をさせていただきます。

「東京書籍」の新規採択も含め、議題 32 号について、御承認いただけます方は、挙手にてお願いいたします。

出席委員

全員挙手

山本教育長

全員挙手であります。

したがいまして、議題 32 号については、提案のとおり承認することといたします。